

小田川市長所信表明

「よりそう市政」の実現へ

第2回市議会定例会が6月20日から7月5日まで、谷和原庁舎議事堂で開催されました。その議会の冒頭で、小田川市長が今後のまちづくりについての所信表明を行いました。ここでは、その発言の要旨をお伝えします。
※内容は一部要約しています。



議場で所信表明を述べる小田川市長

6つの「よりそうビジョン」

本日、市長就任後初めての議会に当たりまして、私の市長としての所信の一端を申し上げます。よろしくお願いいたします。

私は、新しいつくばみらい市を作り上げるために、6つの「みらいビジョン」を掲げました。

今後、この6つのビジョンを基本として政策を検討し、つくばみらい市発展のための市政運営を進めてまいります。

(1) バランスの良いまちづくり

まず1つ目のビジョンとして、「バランスの良いまちづくり」です。徹底した行政改革を進めるとともに、市民の声が届くまちづくりを目指します。私直轄の「地域担当窓口」を設置し、地域の生の声を聴き、地域に寄り添う体制づくりを進めます。

都市計画の見直しも行いながら、みらい平地区の活力を活かしながら、また、みらい平地区の活力を活かすためにも、地域ごとに必要な施策を実現する必要があります。そのためには、都市計画を考え、地域に適したまちづくりを進めなければなりません。市全体を鳥瞰し、都市計画を考えることで、市全体が発展するまちづくりを目指してまいります。

(2) 健全な財政運営

2つ目は、「健全な財政運営」です。自治体の財政は、日本全国、ほとんどの自治体で厳しい状況となっています。そうした中でも、10年先、20年先を見据えて、持続可能な行政運営を進めることが大切です。

本市は、合併後、みらい平地区の発展などにより、急速に人口を伸ばしてきました。他の自治体が人口減少に苦しむ中、誠に喜ばしいことであります。反面、人口増に対応するための支出も増え、多くの借金を抱えてしまったことも事実です。

私は、市民の皆さまの幸福を実現していくために、必要な予算を使うことは、悪いこととは思いません。ただ、その予算が本当に必要なものなのか、もっと工夫をすることによって、予算を減らすことはできないのか、そういう視点を常に持って、施策を精査することが大切だと思っております。同時に税金など、歳入の確保も大切です。定住促進策を進めることにより、さらなる人口増加を図ります。また、工業用地の整備なども進め、企業誘致にも努めてまいります。

(3) 頼れる福祉

3つ目は「頼れる福祉」です。